

平成27年度事業報告

【平成27年度事業実績】

公益社団法人千葉県獣医師会定款第2条に規定する目的を達成するため、定款第3条に規定する事業として、平成27年度において次に掲げる事業を実施した。

公益目的事業1

人と動物の共生する社会環境の健全な発展を目的とする事業

本事業は、人と動物の共通感染症を予防し公衆衛生の向上を図り、また、動物の習性や正しい飼い方等を啓発し、動物の愛護精神を高揚し人と動物が安心して暮らせる社会環境を整えて行くと共に、家畜の伝染病等や食中毒等を予防し、安全・安心な畜産物を生産・流通させることにより、県民の食生活の向上に寄与することを目的とし、次に掲げる事業を行った。

1. 公衆衛生の向上に関する事業

人と動物の共通感染症である狂犬病は、罹患した犬等に咬まれることにより人が感染し発症するとほぼ100%死亡する大変恐ろしい病気である。

事業は、厚生労働省局長通知に基づき、犬の飼養者の利便性を図り予防注射実施率の向上を図るため、毎年4月から6月の3か月間各市町村で実施日時・場所を定め、広報して、集合予防注射を実施するのと併せて未登録犬の登録を実施するもので、本会は、市町村との委託契約に基づき、予防注射の接種、予防注射を受けた犬がアナフィラキシー等により事故を起こした場合における対応並びに注射事故損害賠償保険に加入し、適切な補償を実施する。

また、人と動物の共通感染症については、獣医師会のHPへの掲載や公開講座等を開催して予防の大切さについて啓発し、普及・浸透を図った。

(1) 狂犬病予防定期集合注射事業

【実施実績】

年度		委託契約締結市町村数	注射計画頭数	従事獣医師委嘱数
H27年度	計画	54	86,000頭	294名
	実績	54	78,520頭	294名

※別途掲載『平成27年度狂犬病予防定期集合注射実施頭数(市町村別)』参照。

(2) 畜犬登録促進指導事業

【実施実績】

指導登録頭数	H27年度	H26年度	増減	対前年比
	3,693頭	3,729頭	36頭減	99%

※契約締結市町村数：25市町(うち前期・後期分の2回委託料請求市町15)

※別途掲載資料『平成27年度畜犬登録促進指導事業実績』参照。

2. 動物の保護活動事業

家庭飼育動物が増加する中、その習性や正しい飼い方を知り愛護・保護精神を醸成することを目的として、県や市、日本獣医師会等が開催する動物愛護週間フェアへの参加やチラシ等を作成し関係機関・団体等へ配布、掲示するなどの事業を実施した。

(1) 動物保護管理推進事業

動物愛護週間行事の一環として県や市町村・日本獣医師会・各地域獣医師会等が開催する動物フェアに共催・協力し、動物のしつけ方や健康相談等を通じて動物の正しい飼い方、保護管理等について啓発した。

【実施実績】

行 事	内 容 等	
日獣「動物感謝デー」	出展	H27. 10. 3(土) 駒沢オリンピック公園
千葉県「なかよし動物フェスティバル」	後援 協賛	H27. 9. 19(日) 千葉県動物愛護センター
千葉市「動物愛護フェスティバル」	共催 協賛	H27. 9. 20(日) 千葉ポートタワー&ポートパーク
柏市「なかよし動物フェスティバル」	共催	H27. 9. 26(日) ららぽーと柏の葉
船橋市「なかよし動物フェスティバル」	共催	H27. 9. 12(日) ビビットスクエア南船橋

(2) 動物不妊・去勢手術助成事業

ア) 犬猫不妊・去勢手術助成事業

望まない繁殖により捨てられる犬や猫をなくすため、不妊・去勢手術を希望する飼い主を公募し、当選した人に利用券を交付し、会員動物病院で手術を受けた場合にその費用の一部を助成した。

【実施実績】

方 法	実 績	備 考
公募・抽選	当選数：犬・猫合計 805 頭 不妊去勢手術実施頭数：424 頭 助成額： 2,120,000 円 MC 優先実施頭数： 232 頭 助成額： 1,392,000 円 総実施頭数： 656 頭 総 額： 3,512,000 円	有効応募数： 1,811 件 無効応募数： 134 件 応募総数： 1,945 件

※1 1頭当たり助成額：5,000円、マイクロチップ(MC)装着分：6,000円

※2 805頭のうち100頭分(500,000円)は(公財)千葉県動物保護管理協会負担。

※3 マイクロチップ装着希望者は、優先当選。

※4 別途掲載資料『平成27年度不妊去勢手術助成全体集計表』参照。

イ) 飼い主のいない猫不妊去勢事業 (県委託事業)

県内(千葉市、船橋市及び柏市を除く)で地域猫活動に取り組む団体に対し「千葉県飼い主のいない猫不妊去勢手術事業」実施要領に基づき、猫の不妊去勢手術の協力を行うことにより、みだりな繁殖を防ぐことにより、地域環境の改善を図り、人と猫の調和のとれた住みやすい街づくりに協力した。

【実施実績】

獣医師会の業務	実 績	備 考
千葉県動物愛護センター本所及び東葛飾支所において不妊去勢手術	地域猫 113 頭、600,000 円	協力地域獣医師会 東葛・印旛・京葉地域獣医師会 計 30 人

(3) 傷病野生鳥獣救護事業 (県委託事業)

県民が保護した傷病野生鳥獣の応急処置・治療を行い野生復帰までの一定期間保護をすることを通じて、広く県民に鳥獣保護思想の普及・啓発を図った。

【実施実績】

獣医師会の業務	実 績	備 考
保護・搬入された傷病野生鳥獣の応急処置	件数：鳥類 471 件 獣類 45 件 費用：2,059,992 円 (精算額)	指定獣医師 71 病院、72 名

※ 鳥 1 件 3,672 円、獣 1 件 7,344 円 助成

※別途掲載資料『平成 27 年度動物の保護活動関連助成一覧 傷病野生鳥獣』参照。

(4) 野生動物救護対策事業

自然災害によって負傷した野生動物を応急処置し、社会福祉及び動物福祉の向上に寄与することを目的に実施する。治療・保護にかかわる費用は、県獣会員や一般市民等からの寄付金を原資として対応した会員動物病院に助成する。

【実施実績】 該当事案なし。

(5) 負傷動物救護事業

飼養者不明の犬・猫が公共の場所で疾病に罹り、あるいは負傷し会員病院に持ち込まれた場合、動物愛護センターに収容されるまでの間の救急診療を行った場合に、その費用の一部を助成した。

【実施実績】

業務内容	実 績	備 考
保護・搬入された飼い主不明動物の応急処置	83 頭 415,000 円	対象：開業正会員病院

※ 1 頭当たり助成額：5,000 円 (保護した人等の診療費用軽減：動物病院へ支出)

※別途掲載資料『平成 27 年度動物の保護活動関連助成一覧 負傷動物』参照。

(6) 被災動物救護支援事業

災害等で被災した動物の救護活動を支援する。

【実施実績】

業務内容	実績	備考
東日本大震災関連分 (同行避難動物対象)	5頭 87,280円	

※別途掲載資料『平成27年度動物の保護活動関連助成一覧 被災動物』参照。

(7) 福祉介護犬医療助成制度

盲導犬・聴導犬・介助犬の健康管理及び保持を目的として、診療費の一部を助成し、専門家としての技術提供並びに助言指導を行った。

【実施実績】

事業内容	実績	備考
盲導犬・聴導犬・介助犬の 健康診断及び治療費助成	17頭、521,730円	全会員病院

※ 1頭当たり年間上限額 治療費：45,000円、健康診断：10,000円：狂犬病予防注射2,950円

※ 平成27年度末募金残高：3,530,117円

※別途掲載資料『平成27年度動物の保護活動関連助成一覧 福祉介護犬』参照。

(8) マイクロチップ普及推進事業

飼養動物が災害等で逸走し保護された場合に、マイクロチップが埋め込んでであると飼養者が特定できる体制を構築することを目的に、本会独自事業である犬猫不妊去勢手術助成事業応募者の中からマイクロチップ装着希望者を優先的に当選として実施した。

【実施実績】

事業内容	実績	備考
マイクロチップ装着	犬：71頭、猫：161頭 計 232頭	対象：開業正会員病院

(9) 学校飼育動物指導事業

動物飼育を教育に取り入れる小学校等に対し、正しい動物の飼い方についての指導等を行い、命の大切さ・動物愛護精神の醸成等情操教育の支援を行った。各地域の会員が、市町村教育委員会等からの要請に基づいて対応しており、獣医師会の学校飼育動物指導委員会において対応マニュアル等を作成し、県下一円に同レベルで対応できるよう努めた。

3. 安全な畜産物及び食品の生産・流通に関する事業

【事業の目的及び内容】

産業動物部門従事獣医師の獣医療技術の研鑽と畜産農家への的確な指導による損耗防止等畜産の振興並びに安全・安心な畜産物の生産・流通を図り、国民の食生活の向上に寄与することを目的として技術セミナーや生産者向け研修会の開催する他、関係団体等が開催する畜産振興事業へ協賛した。

(1) 畜産関係研修事業

県家畜保健衛生所及び県農業共済組合連合会等が実施する産業動物研修会、畜産農家研修会等へ助成した。

ア) 公職農林部会（家畜保健衛生所関係）

【実施実績】

中央動物防疫協議会

開催月日	会議名等	開催場所等
H27. 8. 7 (金)	鶏病技術研修会 演題：ワクモ対策 講師：JA 全農家畜衛生研所 村野多可子 先生	場所：千葉市ふるさと農園 参加：42名
H27. 11. 26 (木)	養鶏講習会 演題：鳥インフルエンザの疫学と防疫 講師：動物衛生研究所 筒井俊之 先生 題名：米国における鳥インフルエンザの発生状況について 講師：日本レイヤー株式会社 橋本 亘 先生	場所：千葉市生涯学習センター 参加：89名 共催：(公社)千葉県畜産協会
H28. 2. 19 (金)	鶏病技術研修会 演題：野外における鶏病の変遷 講師：坂井利夫家禽・家畜診療所 坂井利夫 先生	場所：成田国際文化会館 参加：91名
H28. 3. 10 (木)	演題：牛ウイルス性下痢・粘膜病について 講師：動物衛生研究所 坪井孝益 先生 題名：牛ウイルス性下痢・粘膜病（ワクチン）について 講師：共立製薬株式会社 武隈俊和 先生	場所：千葉市ふるさと農園 参加：46名

東部・北部家畜防疫獣医師会

開催月日	会議名等	開催場所等
H27. 6. 30 (火)	第1回東部・北部家畜防疫獣医師研修会 題名：妊娠中期及び分娩後の乳牛に発生した子宮念転2症例他6題 講師：東部家畜診療所他6機関 題名：【情報提供】牛白血病に係る家畜共済事務取扱要領及び事務処理要領の一部改正について他1題 講師：北部家畜診療所、北部家畜保健衛生所	場所：東金中央公民館 参加：28名
H27. 7. 8 (水)	養鶏講習会 題名：「海外での鳥インフルエンザ発生状況と管内で発生したILTについて」 講師：北部家保 今関智恵 先生 題名「九州におけるILT及びIBDの発生事例と防疫対策について」 講師：化血研 山崎憲一 先生	場所：成田エクセルホテル東急 参加：61名 共催：北部養鶏衛生協議会
H27. 11. 26 (木)	養鶏講習会 題名：鳥インフルエンザの疫学と防疫 講師：動衛研 筒井俊之 先生 題名：米国における鳥インフルエンザの発生状況について 講師：日本レイヤー株式会社 橋本 亘 先生	場所：千葉市生涯学習センター 参加：89名 共催：(公社)千葉県畜産協会
H27. 12. 2 (水)	第2回東部・北部家畜防疫獣医師研修会 題名：今、始める農場HACCPとその経済効果 講師：神奈川県畜産会 萩原茂紀 先生	場所：パレス大藤 参加：41名 共催：香取郡市養豚協会

南部家畜防疫獣医師会

開催月日	会議名等	開催場所等
H27. 7. 15 (水)	獣医師研修会 演題：E型肝炎について 講師：芦澤尚義 先生	場所：休暇村館山 参加：26名
H28. 3. 24 (木)	獣医師研修会 題名：家畜伝染病の発生状況について 講師：芦澤尚義 先生 題名：牛ウイルス性下痢・粘膜病について 講師：土肥世生 先生	場所：南部家畜保健衛生所 参加：15名

イ) 共済部会（農業共済組合連合会関係）

開催月日	会議等名	開催場所等
H27. 11. 10 (火)	第1回技術懇談会 演題：運動記器病における診断法とその外科処置法 講師：茨城県農業共済組合連合会 坂入健史 先生 他2名	場所：中央家畜診療所 参加：40名
H27. 12. 10 (木)	第2回技術懇談会 演題：牛受精卵移植の現状と現場での取り組み 講師：全国農業協同組合連合会 大野喜雄 先生 他4名	場所：中央家畜診療所 参加：35名

(2) 畜産振興事業

県内畜産関係団体等が主催する家畜共進会、畜産物消費拡大イベント等に協賛もしくは共催し、畜産の振興・発展を図った。

開催月日	共進会等名	主催団体	内容
H27. 10. 24 (土)	千葉県畜産フェア (船橋競馬場)	千葉県畜産フェア 実行委員会	協賛

(3) 獣医公衆衛生対策推進事業

保健所や食肉衛生検査所に勤務する獣医師で構成される公衆衛生獣医師協議会及び食品衛生研究協議会が実施する、安全な畜産物及び食品を流通させるための検査等を的確かつ迅速に行うために必要な調査、情報収集及び研修等に対し費用の一部を助成した。

開催月日	会議等名	開催場所等
H27. 6. 30 (水)	千葉市食品衛生研究協議会主催 平成 27 年度研究発表会・総会	場所：東天紅 参加：31 名
H27. 6. 4 (木)	千葉県食品衛生研究協議会主催 千葉県食品衛生等関係職員研修会 演題：食品表示基準について 講師：宮崎大学名誉教授 池戸 重信	場所：千葉県教育会館 参加：81 名
H27. 6. 11 (木)	千葉県食肉衛生検査所協議会主催 千葉県食肉衛生検査所協議会総会	場所：京成ホテルミラマーレ 参加：21 名

4. 人と動物の絆（ヒューマン・アニマル・ボンド）の確立を目指す事業

人と動物の共生に関する保健衛生の向上、動物の愛護・福祉の増進並びに自然環境の保全を目的とした普及・啓発活動などを実施した。

(1) 公開講座、講習会・セミナーの開催

市民から専門家（学校教育関係者、動物看護師、獣医師等動物取扱関係者）に至る広範囲な職種を対象とした保健衛生（人獣共通感染症の予防等）の向上、人と動物の愛護及び福祉（災害時の動物救護、介助犬の保護等）並びに自然環境の保全（野生動物救護、傷病鳥獣の保護等）を目的として公開講座、講習会・セミナーなどを開催並びに関係機関・団体等と共催した。

【実施実績】

セミナー等名	回数	備 考
県獣セミナー	3回	学術感染症セミナー1回 技術セミナー2回
シリーズセミナー	2回	診断・治療技術の向上
市民公開講座	1回	
獣医師会「獣医学術年次大会」	1回	従来の研究発表会と県獣学会を統合し、獣医学術年次大会として開催（H27年度～） ※県獣学会としては第40回目（第1回：昭和52年3月6日。平成25年度は日獣年次大会開催のため、県獣の獣学会は開催せず。第1回県獣学会開催から実質39年目）
日獣委託講習会	1回	小動物臨床講習会
開業部会ブロックセミナー	5回	中央・西部・東部・南部・北部 計5ブロック

ア) 県獣主催開催状況

開催月日	セミナー名等	内 容	開催場所等
H27.6.25(木)	技術セミナー 「内視鏡実習」	演題：内視鏡挿入、生検実技実習 講師：(株) AVS (オリンパス) 技術者 演題：超音波手術器 (ソノサージ) 実技実習 講師：村田 佳輝先生 演題：腹腔鏡 生検実技実習 講師：杉田 祐司 先生	場所：県獣会館実習室 参加：21名
H27.7.12(日)	第1回シリーズセミナー	演題：消化器外科のアップデート ～ 基礎から見直そう ～ 講師：日本大学 浅野 和之先生	場所：TKP ガーデンシティ千葉 参加：85名
H27.9.27(日)	学術感染症委員会 合同セミナー	演題：「医療現場における薬剤耐性菌の現状」 講師：北里大学 高橋 孝先生、 (株) サンリツセルコバ検査センター 露木 勇三先生	場所：TKP ガーデンシティ千葉 参加：44名

H 27.11.22 (日)	市民公開講座	演題：1「One World One Health を目指して」国 講師：日本医療研究開発機構 重茂 浩美先生 演題：2「来る？いつか来る？狂犬病」 講師：千葉県衛生研究所 平良 雅克先生 演題：3「お肉が食卓に届くまで」 講師：千葉県中央食肉衛生検査所 清水佑也先生 演題：4「これからの野生動物管理」 講師：千葉科学大学危機管理学部小林 恒平先生 演題：5「ペットといつまでも元気に！」 講師：感染症委員会 高橋 英雄 先生	場所：京葉銀行文化プラザ 参加：131名
H 27.11.26 (木)	超音波診断技術セミナー	演題：超音波診断の基礎 講師：長谷往明先生 協力：(株)日立アロカメディカル	場所：県獣会館実習室 参加：11名
H 27.12.13 (日)	小動物臨床講習会 (第2回シリーズセミナー)	演題：知って得する「最新の消化器外科」 ～胆・肝・膵の先端技術～ 講師：日本大学 浅野 和之先生	場所：京葉銀行文化プラザ 参加：81名

イ) 地域ブロック主催開催状況

開催月日	ブロック	内 容	開催場所等
H27.10.18 (日)	西部ブロック (市川浦安・ <u>東葛</u>)	演題：「慢性心不全の治療指針①」 (ステージ分類と新エコー画像の評価) 講師：日本獣医生命科学大学 小山秀一先生	場所：ザ・クレストホテル柏 参加：37名
H 28. 1.17 (日)	北部ブロック (<u>印旛</u> ・香取)	演題：「犬種別眼科疾患その1」 講師：どうぶつ眼科 Eye Vet 小林一郎先生	場所：ウイシントンホテル・ユーカリ 参加：29名
H 28. 1.24 (日)	南部ブロック (安房郡市・夷隅・ <u>かずさ</u>)	演題：アレルギーの病態に合わせた診断と治療 講師：増田 健一先生	場所：ロイヤルヒルズ 木更津ビューホテル 参加：32名
H 28. 2. 9 (火)	中央ブロック (千葉市・ <u>京葉</u> ・市原市)	演題：呼吸器科症例報告 講師：相模が丘動物病院 城下 幸仁先生	場所：クロスウェーブ船橋 参加者：70名
H 28. 3.20 (日)	東部ブロック (<u>長生</u> ・山武・海匝)	演題：1：肺水腫の管理 演題：2：一次診療で行う外科治療 講師：すぎき動物病院 須崎 信茂先生	場所：ホテルシテイ・イン茂原 (本館) 参加：26名

(※下線は担当地域獣医師会)

公益目的事業 2

学術の振興を目的とする事業

1. 学会の開催及び参加

小動物・産業動物・公衆衛生の各分野で働く獣医師が、日頃の業務を通じて研究・調査した事例等を学会の場に報告し、意見交換を行い技術の伝達・普及を図ることを目的として千葉県獣医師会獣医学術年次大会を開催した。また、動物への適切な獣医療技術を提供し、動物の愛護、福祉の向上に寄与することを目的として、会員が他の団体等が主催する学会に参加し技術の習得に努めることを支援した。

【実施実績】

(1) 県獣医師会「獣医学術年次大会」(第1回)

開催状況	備考
年度から、従来の研究発表会と県獣学会を統合し、獣医学術年次大会として開催した。 ※県獣学会としては第40回目(第1回:昭和52年3月6日。平成25年度は日獣年次大会開催のため、県獣の獣学会は開催せず。第1回県獣学会開催から実質39年目) 後援・名義使用者: 6団体、協賛企業 1団体 発表演題数: 36題 ・学術報告会 3題 ・ランチョンセミナー 1題 ・研究発表 31題 ・特別講演 1題	H28. 3.6 (日) 午前9時～午後5時45分 場所:TKP ガーデンシティ千葉 (カンデオホテルズ内) 3階「シンフォニア」 参加人数 181名

(2) 日獣・関東連学術年次大会

開催・参加学会等	備考
関東・東京合同地区獣医学術学会・大会への参加	H27. 9.13 (土) 場所:パシフィコ横浜 千葉県参加人数 74名
日本獣医師会獣医学術学会・年次大会への参加	H28. 2.26 (金)～28(日) 場所:秋田キャッスルホテル 秋田アトリオン にぎわい交流館AU 千葉県参加登録人数 22名

収益事業 1

獣医療証明等事業

※項目のみ

1 獣医療証明等事業

項 目		内 容	備 考
購販売	1 物品購販売収入	予防接種証明書 (A)	
		〃 (B)	
		動物用医薬品指示書	
		狂犬病予防接種済証	
		日本獣医師会生涯学習事業	H27 年度終了
使用料	2 家 賃	(公財) 千葉県動物保護管理協会	県獣会館 3 階
		千葉市獣医師会	県獣会館 3 階
		サンリツセルコバ検査センター	県獣 1 階
	3 施設賃貸	県獣会館使用料等	会議室等
手数料	4 保険事務取扱手数料	獣医師損害賠償責任保険： 損保ジャパン日興亜(株)	事務受託
		住友生命保険(株) ※27 年度で廃止	事務受託
		メットライフ生命保険(株)※任意加入	事務受託
	5 クレジットカード	(株)クレディセゾン	発行取次手数料
配当金	6 配当金収入	住友生命保険(株) ※27 年度で廃止	

※住友生命保険は日本獣医師会「総合福祉生命共済事業」(団体生命保険)

2 広告掲載料

会報及び県獣医師会獣医学術年次大会抄録集に企業等からの協賛広告を掲載した。

その他の事業 1

開業部会相互扶助等活動事業

種類等	内 容	目 的	実績等
1. 保険事業	獣医師賠償責任保険への加入	会員動物病院の敷地内及び建物内等で、受信目的で来院した動物に対して、病院スタッフの失宜もしくは診療事故等により損害を与えた場合に賠償する目的で加入する保険の掛け金を獣医師会で負担する。	損害保険ジャパン日本興亜(株) 加入件数:335件
2. 福祉厚生事業	(1) 慶弔事業	会員又は同居する一親等親族が死亡した場合に弔慰金の支給、献花、弔電を送る。	7件
	(2) 緊急災厄支援事業	会員又は同居する一親等親族が非常の災厄に遭遇した場合に、規程により被災見舞金を支給する。	該当なし。
	(3) 療養等見舞金	満 65 才未満開業部会所属の正会員が7日以上療養で診療業務に従事することが出来なくなった場合に対して、規程により療養見舞金を支給する。(支給は1回限り)	該当なし。
	(4) 遺児育英支援金	開業部会所属の正会員が死亡した場合、正会員と一親等の続柄にある満 20 歳以下の遺児に対して、規程により遺児育英支援金を支給する。(支給は1回限り)	該当なし。
3. 親睦事業	(5) 親睦活動の実施	開業部会会員が、相互の親睦と連帯を目的として行う行事に対して予算の範囲内で費用の一部を助成する。	H27. 10. 11 (日) (ハゼ釣大会)